

法人向けデータ消去ソフトウェア

# 電子データシュレッダー2

ご紹介資料

不要データの抹消と記録を、日常業務で運用するために。



電子データシュレッダー2は、業務PCや外部媒体に残る不要な機密データを選んで抹消し、記録まで残せる法人向けデータ消去ソフトです。

削除ではなく、抹消と記録まで行うための法人向けツールです。

## 主な処理対象

痕跡ファイルの消去 / 不要ファイルの抹消 / 空き領域の抹消 / スケジュール実行 / レポート保存

### 01

#### ISSUE

#### 通常削除では不十分

削除したつもりでもデータが残る場合があります。

### 02

#### VALUE

#### 必要なデータだけ抹消

業務を止めずに、不要データのみ整理できます。

### 03

#### DIFFERENCE

#### 記録まで残せる

ログやレポートで後から説明しやすくなります。

誰の、何を解決するツールか

誰の

機密情報や個人情報扱う全ての部門へ。

不要データの削除運用は、多くの部門で日常的な課題です。

IT

情報システム

共有PC、退職者PC、外部媒体の不要データ整理

FIN

経理・営業管理

見積書、契約書、顧客資料の整理

HR

人事・総務

履歴書、従業員情報、マイナンバー関連書類の削除運用

LEGAL

法務・コンプライアンス

記録を残す削除運用の整備

機密情報や個人情報を扱う全ての部門の削除運用をサポートします。

## 課題

不要データは発生し続けるのに  
削除運用は担当者任せのまま。

## 目指すべきゴール

不要データを残し続けない運用が、情報管理の基本です。削除作業を仕組みに落とし込み、誰が行っても一定の結果が残る状態を目指します。

### 01

#### 削除したつもりが残る

ゴミ箱を空にしても痕跡が残る場合があります。

### 02

#### 削除ルールが担当者任せ

手順や頻度が人によって異なり、属人化します。

### 03

#### 消去したことを説明できない

記録がなく、後から処理内容を確認しづらい状況。

削除と抹消の違いを、3ステップで整理します。

01

削除したつもり

保存領域に情報が残る場合があります。



02

そのままだと復元のおそれ

痕跡が残ると、条件によっては復元可能な状態です。



03

抹消処理で復元困難に

上書き処理で再利用・復元のリスクを低減します。

通常削除では不十分なため、機密データには抹消処理が必要です。

不要データの管理が「担当者任せ」から「運用できる状態」へ変わります。

## 01

### 情報漏えいリスクを低減

通常削除では残るおそれのあるデータも、抹消処理で復元困難な状態にできます。

## 02

### 必要なデータを残しながら整理

不要なファイルやフォルダだけを選んで処理でき、業務を止めずに運用できます。

## 03

### 削除作業をルール化

スケジュール実行により、属人的な削除運用を仕組みに落とし込めます。

## 04

KEY VALUE

### 後から説明できる

レポート保存で消去結果を確認・共有しやすく、運用の透明性が高まります。

価値提供を支える中核機能を整理しました。

01

## ファイル・フォルダ抹消

不要な機密データを選んで消去。必要なデータは残したまま運用できます。

02

## 空き領域抹消

削除済みデータの痕跡を消去。過去の削除分もまとめて対応でき、消し残りリスク低減を支援します。

03

## スケジュール抹消

指定日時で自動実行。削除作業を仕組みに落とし込み、属人化を防ぎます。

04

KEY

## レポート / ログ保存

消去結果を自動保存。運用の記録として後から参照・共有しやすい状態をつくれます。

業界・規模を問わず、機密情報を扱う現場で利用されています。

## CASE 01

### 地方公共団体

住民情報や納税関連など、センシティブ情報を扱う部署で不要データ削除に活用。

#### IMPACT

不要データ削除を標準化し、センシティブ情報管理の運用強化に活用。

## CASE 02

### 社労士事務所

個人番号関係事務を扱う中で、不要な個人情報の適切な削除運用に活用。

#### IMPACT

個人番号関連書類の削除運用を、担当者任せにしない形で整理。

## CASE 03

### 電子機器メーカー

機密情報や個人情報を復元困難な状態で消去し、漏えいリスク低減に活用。

#### IMPACT

機密情報の消し残りリスク低減と、説明しやすい運用に活用。

導入規模に応じて、ライセンス単価が変わります。

## PACKAGE

### パッケージ版

単体導入や小規模利用向け

**3,850円**

ライセンス（永続版）

## VOL. 01

### 1～29 ライセンス

小規模～部門導入向け

**3,500円**

ライセンス

## VOL. 02

### 30～99 ライセンス

複数部署・拠点展開向け

**3,400円**

ライセンス

## VOL. 03

### 100～299 ライセンス

全社展開や大規模運用向け

**3,300円**

ライセンス

※ 表示価格はライセンス単価です。運用形態、導入台数、サポート要件に応じて個別にご相談いただけます。

NEXT STEP

# 導入に向けたご相談を承ります

導入台数や運用形態に応じて、最適なお提案をご用意します。  
比較検討中の段階でもお気軽にご相談いただけます。

AIデータ株式会社 クラウドデータカンパニー

TEL : 03-6683-0890 MAIL : houjin@aidata.co.jp

01

## 導入相談

利用シーンに応じたご提案

02

## 見積もり作成

台数・構成に応じたお見積り

03

## 個別説明

オンライン/訪問 いずれも対応

# 会社紹介

会社名	AIデータ株式会社（エーアイデータカブシキガイシャ）
設立	2015年4月1日
資本金	1億円（資本準備金15億2500万円）
代表取締役社長	佐々木 隆仁
本社所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-1-5 メトロシティ神谷町4F

